

令和5年度第3回加古川市子ども・子育て会議 議事要旨

【日 時】 令和6年3月21日(木) 15時00分～16時10分

【場 所】 加古川市役所新館10階 大会議室

【出席委員】 松田会長、阿部副会長、浅野委員、稲田委員、北野委員、高瀬委員、高橋委員、宮井委員、山下委員(9名)

- 【会議次第】
- 1 開会
 - 2 会長・副会長の選出について
 - 3 議事
(1) 加古川市立就学前教育・保育施設の再編計画(素案)について
 - 4 報告事項
(1) 第三期加古川市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けたアンケート調査の実施について
 - 5 その他
 - 6 閉会

- 【配付資料】
- 資料1：令和5年度第3回加古川市子ども・子育て会議 座席図
 - 資料2：加古川市子ども・子育て会議委員名簿
 - 資料3：加古川市子ども・子育て会議条例
 - 資料4：加古川市立就学前教育・保育施設の再編計画(素案)に関するパブリックコメントの実施結果について
 - 資料5：加古川市立就学前教育・保育施設の再編計画(素案)に関するパブリックコメント 提出意見一覧
 - 資料6：第三期加古川市子ども・子育て支援事業計画 アンケート調査について
 - 資料7：放課後の過ごし方に関するアンケート調査について
 - 加古川市立就学前教育・保育施設の再編計画(本文素案)
 - 加古川市立就学前教育・保育施設の再編計画(骨子素案)

(参考)

- ・事務局出席者名簿

議事要旨

1 開 会	
2 会長・副会長の選出について	委員の互選により、会長に松田委員、副会長に阿部委員を選出
3 議事	<p>(1) 加古川市就学前教育・保育施設の再編計画（素案）について 資料4、5により説明</p> <p>委員 パブリックコメントで、幼稚園の入園人数が6人と、少なくなっている園で早く統合して欲しいという内容のコメントがあった。合同保育をするという回答であったが、保護者に対して不安を与えることなく、速やかに検討してほしい。</p> <p> 統合の時期を早くすることに対しても、手続きなどを考えると難しいとは思いますが、この計画自体の趣旨が、適正な規模に整えることであり、合意を得ることが可能であれば、早急に進めてほしいと考えている。</p> <p>事務局 統合があったところについては、本市の考え方も書いているが、保護者の意見を聞き取りながら進めていきたいというのが一番にある。ただ、合同保育については少ない園がかなり出てきているので、近い園と合同で行事を中心、順次進めていきたいと考えている。</p> <p>委員 公立幼稚園の延長預かりについての希望が多いように感じた。</p> <p> また、夏休みの預かりもという話も出ており、どうなるのかという心配がある。意見を聞きながら検討していくとあるが、どのように進めていくのか現時点で何か案があるのであれば、教えていただきたい。</p> <p>事務局 預かり保育の件に関しては、実際に要望が多く、今回のパブリックコメントの中でも多数あった。</p> <p> 市の考え方としては、保育園、幼稚園の役割分担というところも、これまでの子ども・子育て会議の中でもお示しさせていただいてるとおり、就労を必要とする方を、基準として認めていく。この部分に関しては慎重に進めていきたいと考えている。</p> <p> また夏休みに関して言うと、そのことが原因で幼稚園を退園してしまうという方もいると聞いており、実際にどのようにするかについては、実情を見ながら検討していきたい。</p> <p>委員 パブリックコメントの5番の募集に関して、この意見内容に書かれてる方に、共感できる。市の考え方についても読んだが、この内容については知っている内容だと思う。</p>

	<p>ただ、現実問題として、私も保育園の園長先生と園でいろんな話をする機会があったが難しかった。</p> <p>幼稚園部で入り、その後保育園部に移行できるかと聞いたときに、ほとんど無理だとはっきりと回答が返ってきた。「移行できる」や、「就労などを理由に保育認定された場合は、保育園部に入園することができる」と安易に書かない方が良いのではないか。できると表記すると、絶対にできると思う人もいるので、表現の仕方が気になった。</p>
事務局	<p>募集のことにに関して、認定こども園の一番のメリットとして、実際に就労の有無に関わらず、転園しなくてもいいということがある。国も実際にメリットとして掲げており、本来の趣旨であれば市としても実現していきたいところである。ただ、どうしても定員があり、1号から2号へすぐには変更できないのが現状である。</p> <p>表現の仕方について、先ほどおっしゃられたように、安易にできると勘違いされないような伝え方を今後、考えていきたい。</p>
委員	<p>なかなか公開するのは難しいかもしれないが、待機児童のように、1号から2号へ変更できた割合を公開することを検討してはどうか。</p> <p>数値で表すと、かなり難しいことであるということがよくわかると思う。</p>
事務局	<p>おっしゃられた意見について、すべての園が市の施設ではなく、民間園の意見を聞きながらになるので、そこまで数値化するのは難しいと思う。</p> <p>実際に入園の点数についてどの程度までの方が入園できたという内容については、公開しているので参考にさせていただきたい。</p>
委員	<p>望ましい集団規模の人数に関することについて、市の考え方とあるが、この考え方は市独自の考え方か。それとも国の教育機関としてこのような方針なのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>国で定められた基準がはっきりと明示されているわけではないが、文科省の調査で、個に応じた支援と集団に応じた支援の両面から見た、幼稚園の先生方の意見を調査した資料がある。その中で、個に対しての支援についてはもっと少人数で構わないと意見が出ているのに対し、集団の場合、4歳から5歳については、20人から25人、もしくは30人ぐらいまでが望ましいと実際調査結果に出ている。このような調査結果に基づいて、市としては、望ましい集団規模について、20人以上が必要としており、これは2年前の幼稚園のあり方を策定したときにもお示した内容です。</p>
委員	<p>他に意見はないようですので、この素案については修正せずにこのまま計画策定を進めていただきます。</p>

<p>4 報告事項</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>(1) 第三期加古川市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けたアンケート調査の実施について</p> <p>資料6、7について説明</p> <p>オンラインアンケート1,800件、教育委員会が3,600件の回答数に対して、これは当初予定したとおりの回答数を得たということではないか。</p> <p>この数を踏まえて、施策を決めていくことになるが、そのための十分な量が集まったという認識ではないか。</p> <p>事務局としてはオンラインアンケートについては、当初1,000件以上で考えており、1,800件は想定より多く回答いただいた。</p> <p>今後1,800件の意見をもとに、次年度の計画策定を進めていきたいと考えている。</p> <p>アンケートで、ベビーシッターの利用に関して問う内容があったが、加古川市ではベビーシッターに対しても支援があるのか確認したい。</p> <p>市の支援メニューの中に産前産後家事ヘルパーについて記載はあったが、ベビーシッターについて記載がなかったため、質問した。</p> <p>市内でも3件実施している業者はあり、今回のアンケートの質問に入れた。</p> <p>ベビーシッターを利用するにあたって、市が何か金銭的なことを、支援することがあるか。</p> <p>3歳から5歳の間であったら、無償化の制度はある。</p> <p>子育てプラザの託児サービスについて、良い評判を聞くが支援メニューに記載がないのはなぜか。</p> <p>子育てプラザで実施している託児サービスについては一時預かりのサービスの一つとして実施しており、アンケートの1ページ記載の一時預かり、(私立保育所・私立認定こども園等)の等の部分に含まれている。</p>
<p>5 その他</p> <p>委員</p>	<p>関係手続きのICT化を進めていただきたいと考えている。</p> <p>別件で、市役所の窓口で手続きをしたところ、スムーズに手続きができ、非常にいいなと感じた。</p> <p>その点子育て関係の手続きはまだまだ手書きが多いという印象がある。可能な限り、今回のアンケート調査をオンラインで実施したように、オンラインやペーパーレスで手続きできるように実現してほしい。</p>

事務局	<p>おっしゃるとおり、できれば市役所に来ることなくすべての申請が最後までできれば、子育て世代の方の負担を軽減できるのかなと思っている。</p> <p>イベントの申し込みをオンライン化するなど、軽微なものから、オンライン化を進めているところである。入園申請なども、将来的にはオンライン化になるかと考えているが、現時点ではまだそこまでできていない。</p> <p>引き続き、可能なものから各種申請手続きをオンライン化していきたいと考えている。</p>
委員	<p>一定の集団規模が子どもの保育の上で適正であると先ほどあったが、私の住んでいる地域でも子どもの数が少なくなってきている。長い目で見たときに、今は統合することで何とか適正な規模を保っているが、今後少子化が進み、規模を保てなくなるのではないかと不安である。</p> <p>少人数制のクラスで丁寧な指導をしていくなど、今後方向転換をする可能性やそのときの備えみたいなものがあるのかをお聞きしたい。</p>
事務局	<p>まずはこの計画の中でも記載しているとおり、小学校に上がっていくステップの中で、集団を経験していくことが大事だと考えている。</p> <p>今回の再編計画では、市を6つのエリアに分け、その中での再編を進めている。市としても、人数が少なくなれば、どこまで施設を統合して減らしていくか。さらに、公立施設の役割の中で、地域や子どもの数、民間の事業者の状況を見ながら、統廃合はどうあるべきかということを考えていきたい。</p>
委員	<p>今年度最後の開催となるので、各委員から発言をいただきたい。</p> <p>子どもたちの最善の利益を常に考えながら、この会議で様々な意見とともに、会議を進めてきた。ゴールはないと思うし、今後も追求すべきテーマだと考えている。</p> <p>引き続き、この会議で加古川市の子育て政策が良いものになるように努めていきたい。</p>
委員	<p>子育て支援の現場にいる者として、子育て中の母親や父親の生の声を聞いている立場にあるので、その声を少しでも届けたいという思いでここにいる。</p> <p>今日の会議でアンケートについて話が出たが、自分たちでも子育てプラザに関するアンケートを実施し、紙媒体のアンケートで直接声をかけながら集め、両プラザで約500の回答数が集まった。</p> <p>質問の中に産後ケアのことについても取り入れ、産後ケアの認知度と利用について聞いた。その中で半数以上が知っているという回答したもの、利用したことがないという方が多数だった。その理由について、必要がないという方が多く、少し驚いた。実家が近いことや、条件が多く手続きが大変であることで、使いにくさみたいなものアンケートの中にあっただけなので、そのような内容が改善できたらいいのかなという思いもある。</p>

	<p>そんな生の声が聞けるという施設の強みもあるので、変わらず今後も届けていきたいと考えている。</p>
委員	<p>本園でもアンケート調査を実施しており、厳しくも前向きな意見をいただくというようなことがあり、事務局もそのような声を聞きながら、日々苦慮されてるのではと思う。</p> <p>幼児期の子どもと大切な時期を過ごしてるわけであり、そういうところに基本軸を置いて接していかなければならないと考えている。ただ、保護者の方にとっては、我が子に対しそれぞれに要望がある。その部分を聞きたいという思いはありながら、行政の立場としてしっかりと説明を尽くしながら、基本軸はぶれないようにしていただきたい。</p>
委員	<p>保護者の方々は、小学校に入れば、幼稚園のときとのジレンマを感じることもある。もしかしたら親学や親育ても必要かもしれないし、教育者や現場を預かってる人間も成長しなければならない。そのような時間を共有できればと考えている。</p> <p>世間では子育てがしやすいようにいろんな制度ができていますが、朝7時から夜7時まで預けられている子どもたちはどうなんだろうと感じる。</p> <p>保護者の中にはとにかく預かって欲しいという気持ちがある。熱さえなければ体調不良であっても預かってくれるだろうという考えもある。一方で、子どもを預かる先生たちの苦勞もある。そんな中で子どもたちをどのように育て、どのように関わっていくべきかを考えている。</p> <p>保育園でできるだけのことはしても、家庭で育くむべきことも多数にあるので、その思いも大事にしていかないと、保育園や幼稚園などの預かる側の負担ばかりが大きくなる。、保育園やこども園のため、民間であるが保育施設のために今後も頑張りたいと思う。</p>
委員	<p>最近私の会社でも男性職員が育児休暇を取得するようになってきた。</p> <p>男性の社員が約1か月、または半年ぐらい子育てのために、休暇を取ることが過去に比べると多くなっている。管理監督者の方も若い世代が増えてきたこともあり、子育てや育児に対して理解のある職場が増えてきている。</p> <p>各委員から市に対しての意見が多く挙がったが、各家庭や男性、女性も多様化する中で、市内に住んでいる方が安心して子育て、育児ができるように、市の方も柔軟に取り組んでいただき、この会議も進めていけたらと思う。</p>
委員	<p>ファミリーサポートセンターでは会員登録してからの利用というのがハンデになっているかと思っている。来年度以降は、現在の説明会の回数に関しては3倍ぐらいに増やして、会員登録が速やかにできるようにしたい。その中で、ここ最近3歳未満の方の会員登録が、少子化の中であるにもかかわらず、増加している。その背景に、預け先への不安があるように感じている。</p> <p>3歳未満の方の受け入れができるように何か制度ができればいいと感じている</p>

	<p>が、一方で加古川市の方は温かい方も多く、提供会員の数も徐々に増えてきている。行政で補えないところは近所の方の力で補っていければという思いで運営している。</p> <p>委員 私が子どもの頃、公立の幼稚園に通っている子どもがほとんどだった。今はそういう時代ではなくなり、お父さんお母さんが当たり前フルタイムで働いて、子どもを預けられる場所もある。少しでも働きたい、そのために子どもに保育園に行ってもらいたいという思いは、私の周りも含め増えていると感じる。</p> <p>一方で公立の幼稚園が統廃合されるのは、残念である。例えば私立の幼稚園のように、預かりの時間や給食の提供など今の時代に沿った教育をしていけば、統廃合もこんなに進むこともなかったのではないかと。家から近い公立の幼稚園に通わせたかったという意見も聞くが、統廃合となると難しい。</p> <p>これからの加古川市が、統廃合が進んだとしても、住みやすくここで子どもを育てたいという方が、増えてほしいと思う。</p> <p>委員 4月から子どもが入園し、そのあとしばらくして働きに出た1年であった。私がこのアンケート調査を回答するなら、良い評価ばかり回答すると思う。公共施設は充実しており、窓口の方もとても丁寧である。園にも感謝しているし、地域の方も声をかけてくれる。</p> <p>私自身は他県出身だが、加古川市の方は温かい人が多いと感じている。そのような温かさを感じられずに子育てされている方もいるのかもしれないと思うので、何か私も力になっていきたいと考えている。</p> <p>委員 私は令和2年2月から今まで4年間ほど委員を務めさせていただいた。様々な市のサービスを利用してきたが、結論からいうと子育てにつまずくことなく、子どもはまもなく卒園予定である。</p> <p>私自身いろんなところに相談し、担当の方に非常に丁寧な対応をしていただいたというような記憶が残っている。相談しに行くといろんなサポートや支援をしていただけたということがわかった。</p> <p>自分から相談に行くことが難しい人には、いわゆるアウトリーチ型でサポートから漏れることのないように、支援してほしい。</p> <p>最近あまり利用できていなかったが、ぽかぽか相談室に久しぶりに訪問した際に、職員が私の子どものことも覚えていてくれた。ずいぶん昔のことでも、覚えていてくれた経験から、市には人材教育にも是非力を入れてほしいとも思っている。</p> <p>最後に、「子育てをみんなで支え子どもが健やかに成長することができるまち加古川」「夢と希望を描き、幸せを実感できるまち加古川」をここにいる皆さんで達成できることを祈っている。</p>
6 閉 会	